

平成27年4月10日  
豊岡市商工会

## 豊岡市商工会管内企業動向調査結果

(平成27年1月～3月期実績、平成27年4月～6月期見通し)

《1》 調査時点 平成27年3月5日

《2》 調査対象

調査依頼先  
150企業

有効回答数  
127企業 (回答率84.7%)

業種	企業数	城崎		竹野		日高		出石		但東		回答数
		対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	
製造業	24	2	2	2	2	9	8	8	7	4	3	22
建設業	27	2	1	3	2	13	11	5	5	3	3	22
小売業	35	10	10	3	3	13	9	8	7	2	2	31
飲食業	20	6	5	2	2	5	2	6	6	1	0	15
宿泊業	23	8	6	6	5	8	7	/	/	/	/	18
サービス業	21	2	1	1	1	11	10	4	4	3	3	19
合計	150	30	25	17	15	59	47	31	29	13	11	127

《3》 調査項目

- ①売上高      ②仕入単価      ③採算性      ④資金繰り      ⑤景況感  
⑥従業員の人数      ⑦直面している経営上の問題      ⑧今後の取組み

【平成27年1～3月期実績】

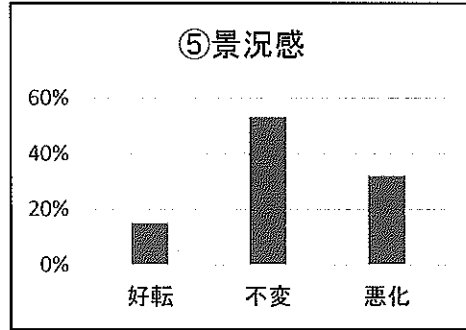
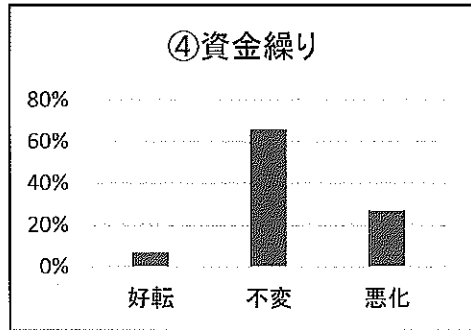
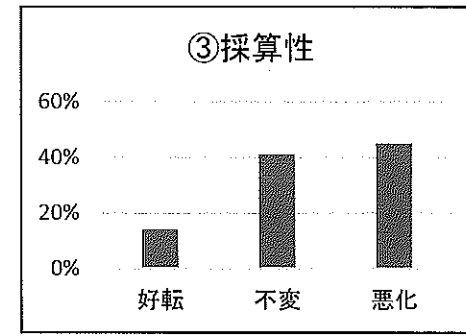
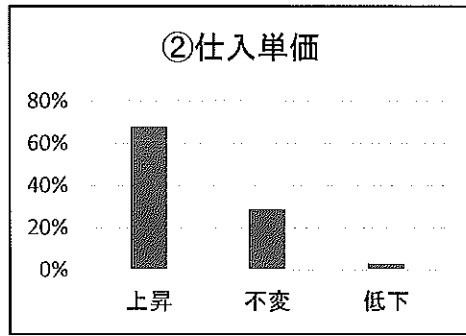
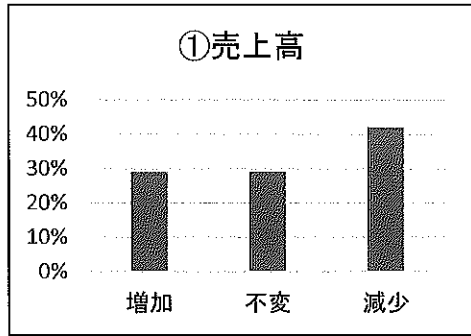
(1)	全業種の売上高DIは、(前期▲8→) ▲11 (前期差3ポイント減) となりマイナス幅が拡大した。 業種別売上高DIは、宿泊業、サービス業が上昇し、製造業、建設業、小売業、飲食業が低下した。
(2)	全業種の仕入単価DIは、(前期72→) 66 (前期差6ポイント減) となりプラス幅が縮小した。 業種別仕入単価DIは、小売業、飲食業が上昇し、製造業、建設業、宿泊業、サービス業が低下した。
(3)	全業種の採算性DIは、(前期▲36→) ▲24 (前期差12ポイント増) となりマイナス幅が縮小した。 業種別採算性DIは、製造業、小売業、宿泊業、サービス業が上昇し、建設業、飲食業が低下した。
(4)	全業種の資金繰りDIは、(前期▲18→) ▲16 (前期差2ポイント増) となりマイナス幅が縮小した。 業種別資金繰りDIは、建設業、小売業、宿泊業、サービス業が上昇し、製造業、飲食業が低下した。
(5)	全業種の景況感DIは、(前期▲20→) ▲16 (前期差4ポイント増) となりマイナス幅が縮小した。 業種別の景況感DIは、建設業、小売業、宿泊業、サービス業が上昇し、製造業、飲食業が低下した。

【平成27年4～6月期の見通し】

(1)	全業種の売上高DIは、▲16 となり5ポイントマイナス幅が拡大する見通し。 業種別売上高DIは、建設業、小売業が上昇し、製造業、飲食業、宿泊業、サービス業が低下する見通し。
(2)	全業種の仕入単価DIは、68 となり2ポイントプラス幅が拡大する見通し。 業種別仕入単価DIは、製造業、建設業、サービス業が上昇し、小売業、飲食業、宿泊業が低下する見通し。
(3)	全業種の採算性DIは、▲32 となり8ポイントマイナス幅が拡大する見通し。 業種別採算性DIは、建設業、小売業が上昇し、製造業、飲食業、宿泊業、サービス業が低下する見通し。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲26 となり10ポイントマイナス幅が拡大する見通し。 業種別資金繰りDIは、建設業が上昇し、製造業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業が低下する見通し。
(5)	全業種の景況感DIは、▲20 となり4ポイントマイナス幅が拡大する見通し。 業種別の景況感DIは、小売業が上昇し、建設業が横ばい、製造業、飲食業、宿泊業、サービス業が低下する見通し。

【1】前年同期比

前年同期（平成26年1月～3月）と比べた今期（平成27年1月～3月）の状況



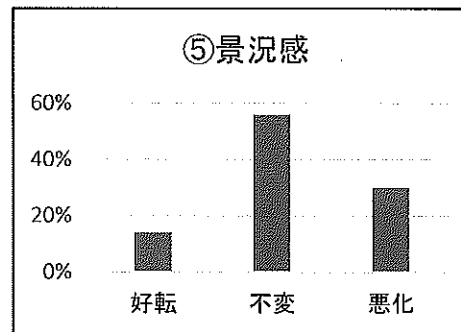
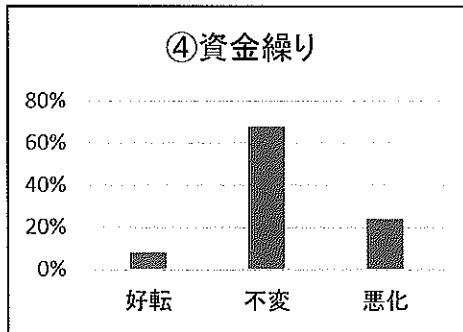
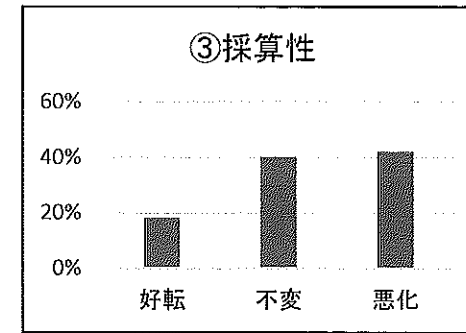
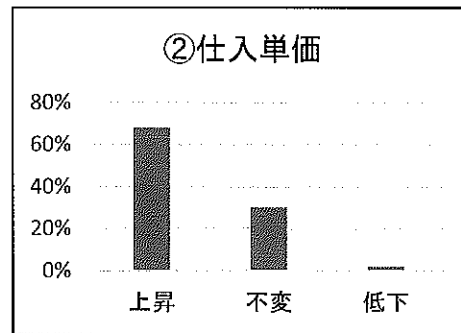
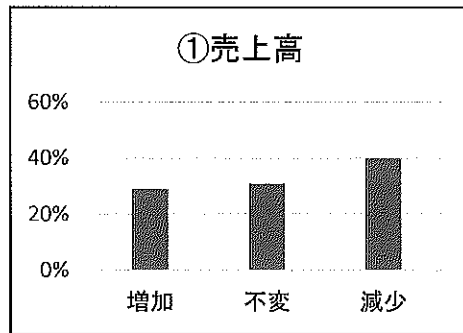
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲13	▲5	▲50	▲28	27	28	▲24
仕入単価	65	60	52	71	86	73	51
採算性	▲31	▲24	▲49	▲29	▲20	▲27	▲22
資金繰り	▲20	▲23	▲37	▲34	6	6	▲29
景況感	▲17	▲23	▲57	▲22	15	28	▲29

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【2】前期比

前期（平成26年10月～12月）と比べた今期（平成27年1月～3月）の状況



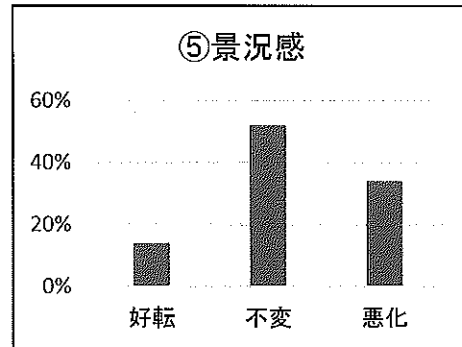
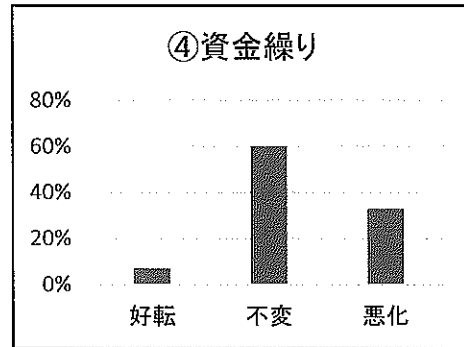
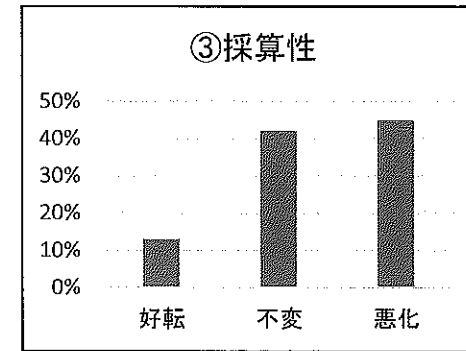
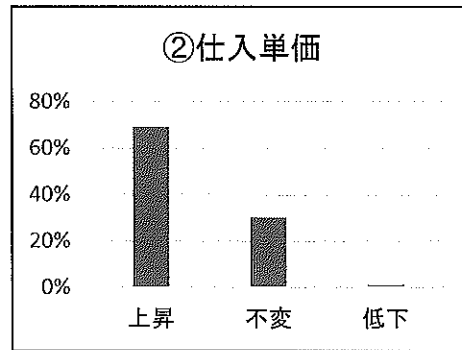
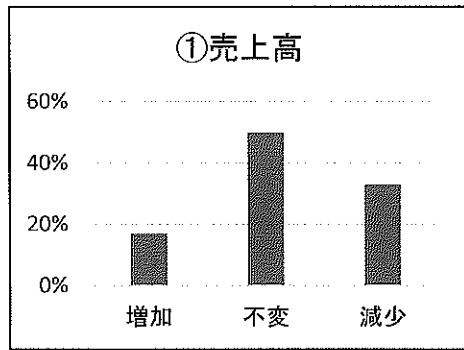
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲11	8	▲50	▲30	19	22	▲11
仕入単価	66	57	59	75	86	77	39
採算性	▲24	▲27	▲46	▲19	▲20	▲17	▲12
資金繰り	▲16	▲19	▲34	▲20	6	▲6	▲12
景況感	▲16	▲14	▲40	▲16	1	22	▲33

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【3】 来期の見通し

今期（平成27年1月～3月） と比べた来期（平成27年4月～6月） の見通し



【全業種・業種別D I】

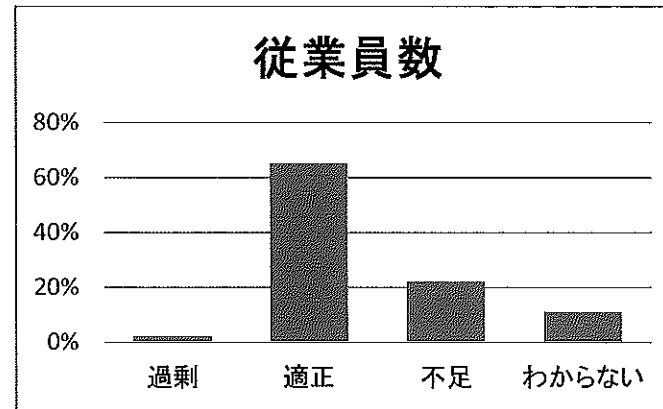
	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲16	▲4	▲27	▲12	▲13	▲6	▲33
仕入単価	68	67	75	69	73	72	44
採算性	▲32	▲46	▲38	▲18	▲33	▲32	▲32
資金繰り	▲26	▲40	▲27	▲25	▲6	▲16	▲27
景況感	▲20	▲23	▲40	▲6	▲19	0	▲47

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合  
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合  
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合  
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【4】従業員（臨時・パート含む）の人数について

【全業種】

従業員の人数	件数	比率 (%)
過剰	2	2
適正	82	65
不足	28	22
わからない	14	11
合計	126	100



【業種別】

従業員の人数 (件数)	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
過剰	0	0	1	0	1	0
適正	15	14	21	14	9	9
不足	6	6	4	0	6	6
わからない	1	2	6	1	1	3
合計	22	22	32	15	17	18

【5】直面している経営上の問題点について

【全業種】

直面している経営上の問題点	件数	比率 (%)
消費者（製品）ニーズ変化への対応	35	28
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	44	36
必要な人材の雇用確保	26	21
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	16	13
事業資金の借入難	3	2
合計	124	100

【業種別】

直面している経営上の問題点（件数）	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
消費者（製品）ニーズ変化への対応	8	4	8	3	6	6
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	9	10	11	10	3	1
必要な人材の雇用確保	4	7	4	0	8	3
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	1	0	7	2	1	5
事業資金の借入難	0	1	1	0	0	1
合計	22	22	31	15	18	16

【6】 今後、取り組んでいきたいこと

【全業種】

今後、取り組んでいきたいこと	件数	比率 (%)
販路開拓（新市場開拓・海外展開等）	43	35
業務の効率化・仕事のみえる化	33	26
人材育成・社員教育	30	24
消費税増税対策・会計管理の見直し	16	13
就業規則・労務管理体制の見直し	3	2
合計	125	100

【業種別】

今後、取り組んでいきたいこと（件数）	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
販路開拓（新市場開拓・海外展開等）	6	4	17	4	6	6
業務の効率化・仕事のみえる化	8	11	5	0	4	5
人材育成・社員教育	8	6	5	3	5	3
消費税増税対策・会計管理の見直し	0	0	3	8	2	3
就業規則・労務管理体制の見直し	0	1	1	0	1	0
合計	22	22	31	15	18	17

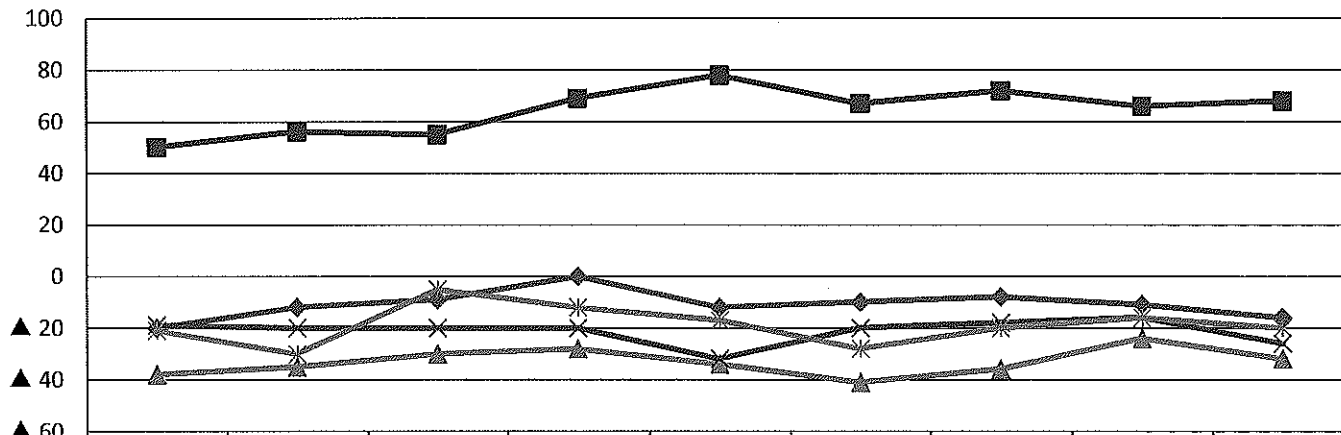


## 【7】自由コメント

1	城崎に来られる客層の変化（若年化、外国人）に対応した商品を用意することが課題
2	仕入単価や電気やガソリン、光熱費の上昇などによる事での料金値上げでのお客様離れや大手ホテルなどの低価格は、小さな宿にとってはおおきな痛手です。この春電気料金が値上げすると死活問題です。（宿泊業）
3	但馬のブランド化の推進（建設業）
4	配管詰りの臨時休業が影響（サービス業）
5	国内の景気上向きで宿泊客数は増加基調にありますが、人手不足が課題です。サービス面での影響が懸念されます。外国人を含め単純労働対象人員の確保が最重要課題です。（宿泊業）
6	販促指導、ディスプレイ指導等どうしたら売れるようになるかの指導はないですか。（飲食業）
7	電気代が上がるので今後、更に経営状態の悪化が予測される。（製造業）
8	目の前の仕事を誠意をもって、丁寧にこなしていきたいと思います。（小売業）
9	電気料金の値上げ、再三で考えられます。（製造業）

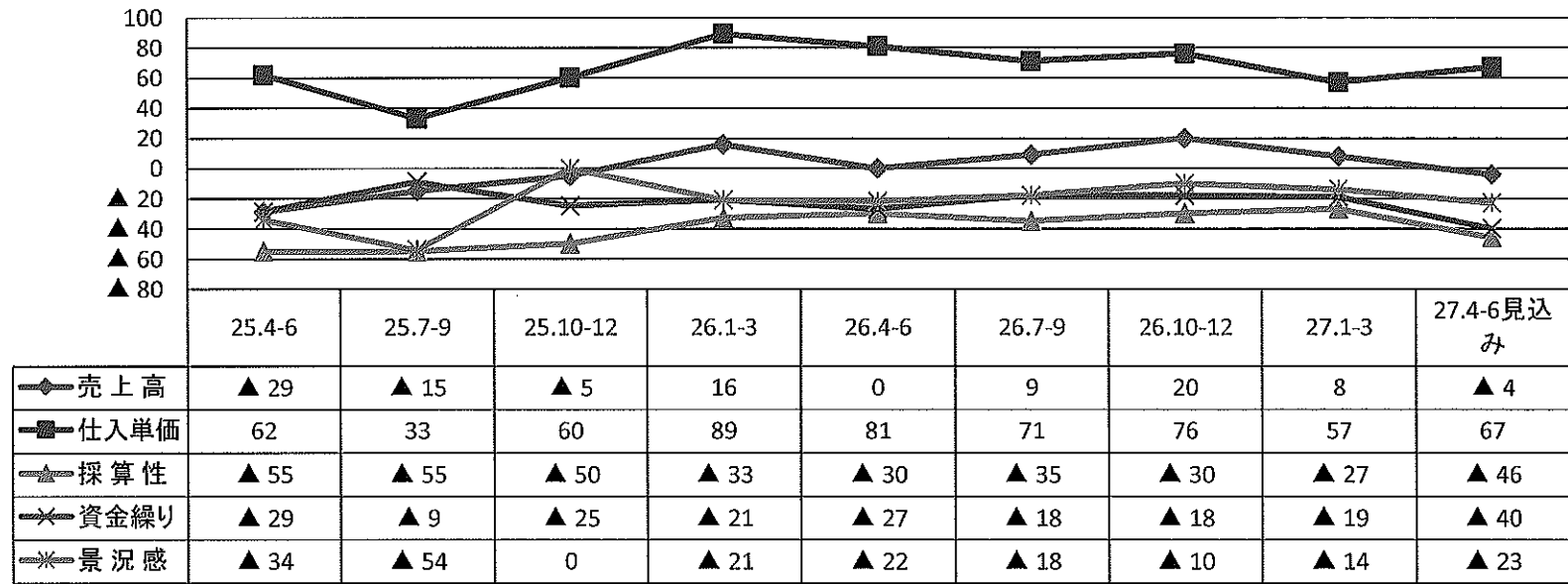
平成25年4月～平成27年6月（見込み）までの豊岡市商工会管内景気動向調査結果

全業種DI推移

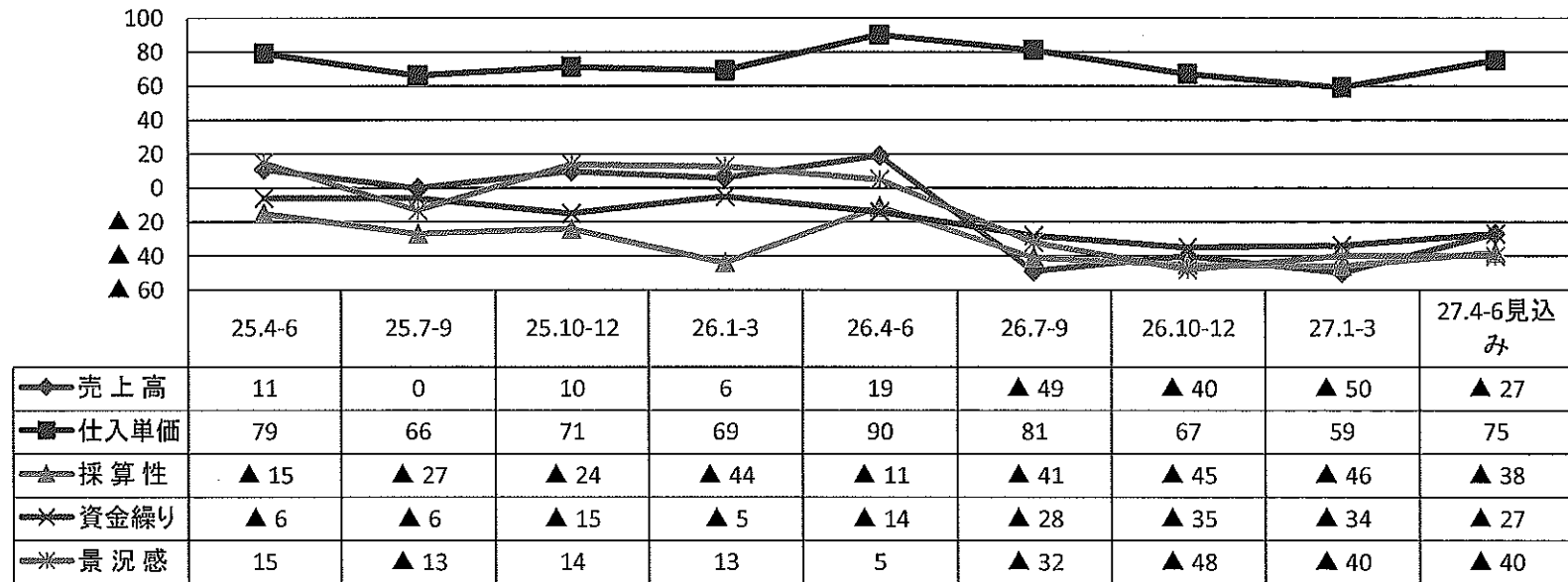


	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6	26.7-9	26.10-12	27.1-3	27.4-6見込み
◆ 売上高	▲ 20	▲ 12	▲ 9	0	▲ 12	▲ 10	▲ 8	▲ 11	▲ 16
■ 仕入単価	50	56	55	69	78	67	72	66	68
▲ 採算性	▲ 38	▲ 35	▲ 30	▲ 28	▲ 34	▲ 41	▲ 36	▲ 24	▲ 32
× 資金繰り	▲ 19	▲ 20	▲ 20	▲ 20	▲ 32	▲ 20	▲ 18	▲ 16	▲ 26
* 景況感	▲ 21	▲ 30	▲ 5	▲ 12	▲ 17	▲ 28	▲ 20	▲ 16	▲ 20

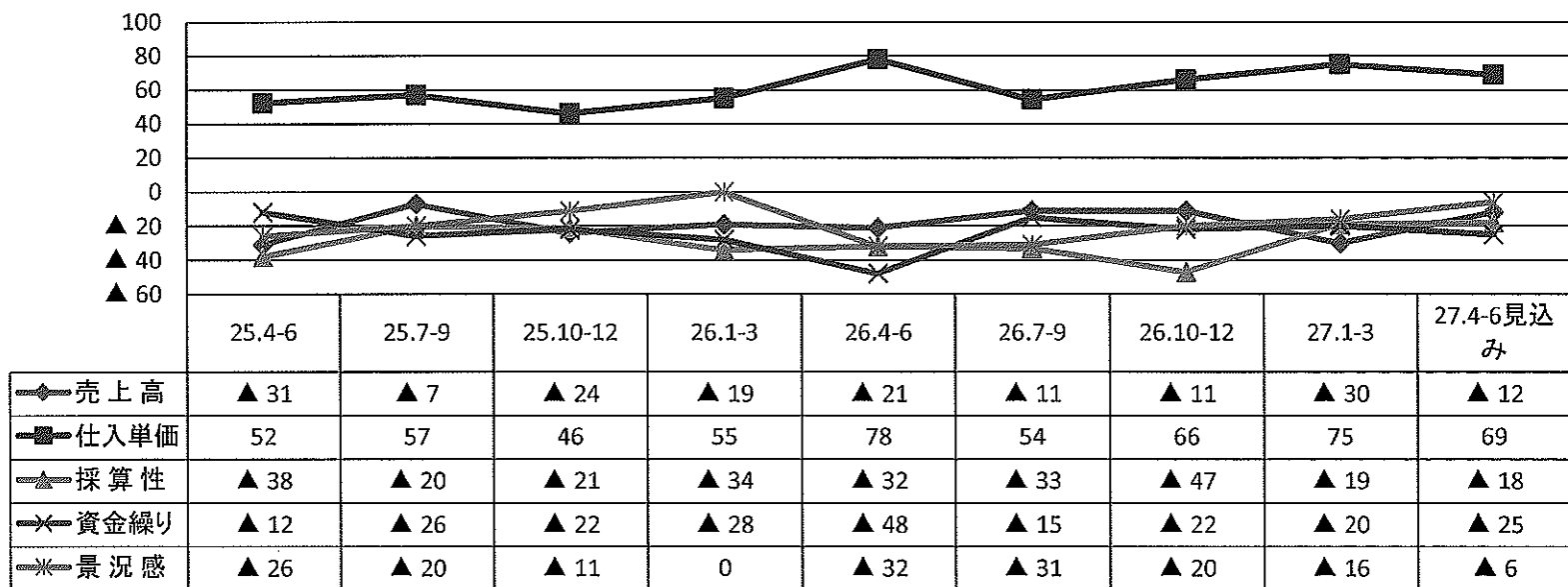
### 製造業DI推移



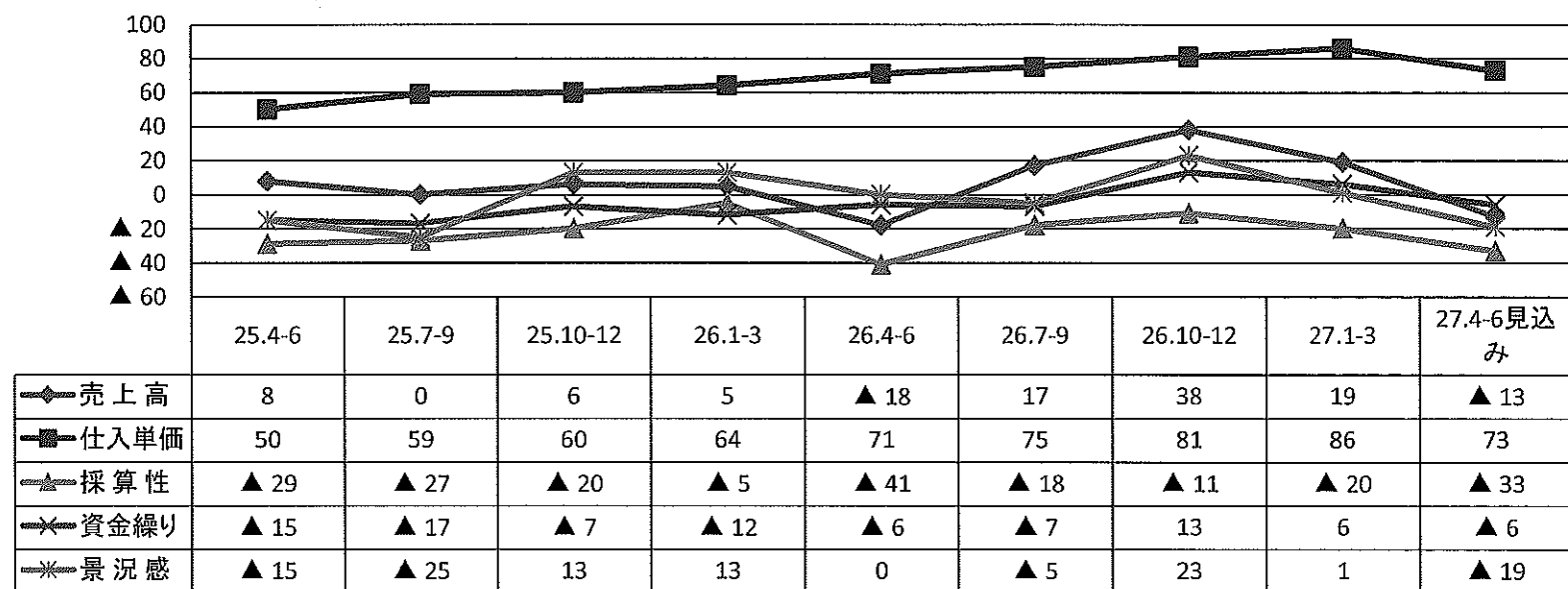
### 建設業DI推移



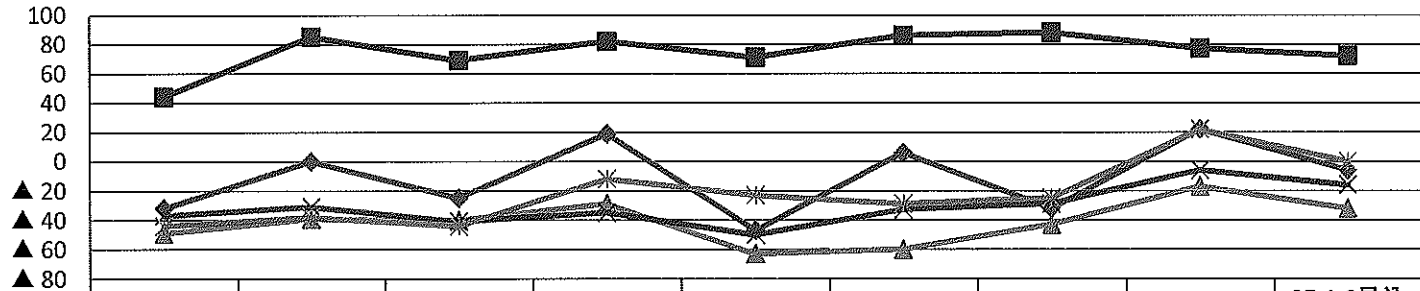
### 小売業DI推移



### 飲食業DI推移

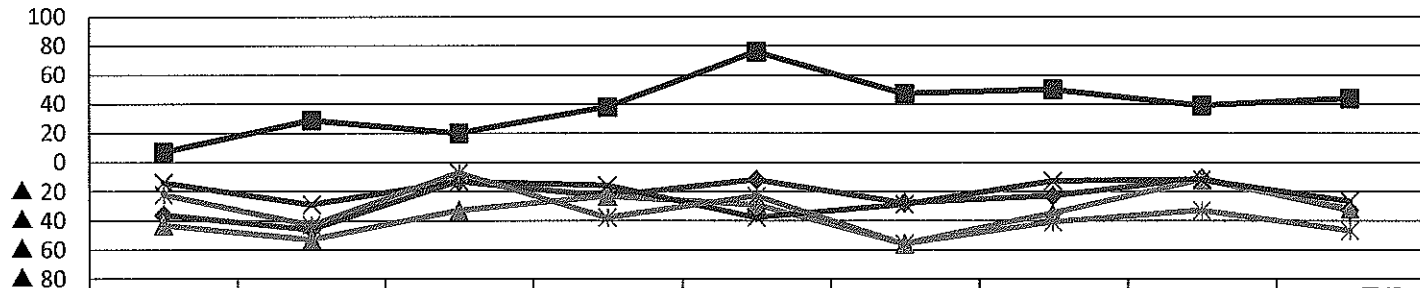


### 宿泊業DI推移



	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6	26.7-9	26.10-12	27.1-3	27.4-6見込み
◆売上高	▲ 32	0	▲ 25	19	▲ 47	6	▲ 32	22	▲ 6
■仕入単価	44	85	69	82	71	86	88	77	72
▲採算性	▲ 49	▲ 39	▲ 40	▲ 29	▲ 63	▲ 60	▲ 43	▲ 17	▲ 32
×資金繰り	▲ 37	▲ 31	▲ 41	▲ 35	▲ 50	▲ 33	▲ 29	▲ 6	▲ 16
※景況感	▲ 44	▲ 38	▲ 44	▲ 12	▲ 23	▲ 29	▲ 25	22	0

### サービス業DI推移



	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6	26.7-9	26.10-12	27.1-3	27.4-6見込み
◆売上高	▲ 36	▲ 46	▲ 13	▲ 23	▲ 12	▲ 28	▲ 23	▲ 11	▲ 33
■仕入単価	7	29	20	38	76	47	50	39	44
▲採算性	▲ 43	▲ 53	▲ 33	▲ 23	▲ 29	▲ 56	▲ 35	▲ 12	▲ 32
×資金繰り	▲ 14	▲ 29	▲ 13	▲ 16	▲ 38	▲ 29	▲ 13	▲ 12	▲ 27
※景況感	▲ 22	▲ 43	▲ 7	▲ 38	▲ 23	▲ 56	▲ 41	▲ 33	▲ 47